

令和8年産 美里地区の大豆情報第4号

【中耕・培土、病害虫対策編】

宮城県美里農業改良普及センター

令和8年9月9日

TEL:0229-32-3115

FAX:0229-32-2225

<https://www.pref.miyagi.jp/site/misato-index/>

1 気象経過 (鹿島台アメダスより)

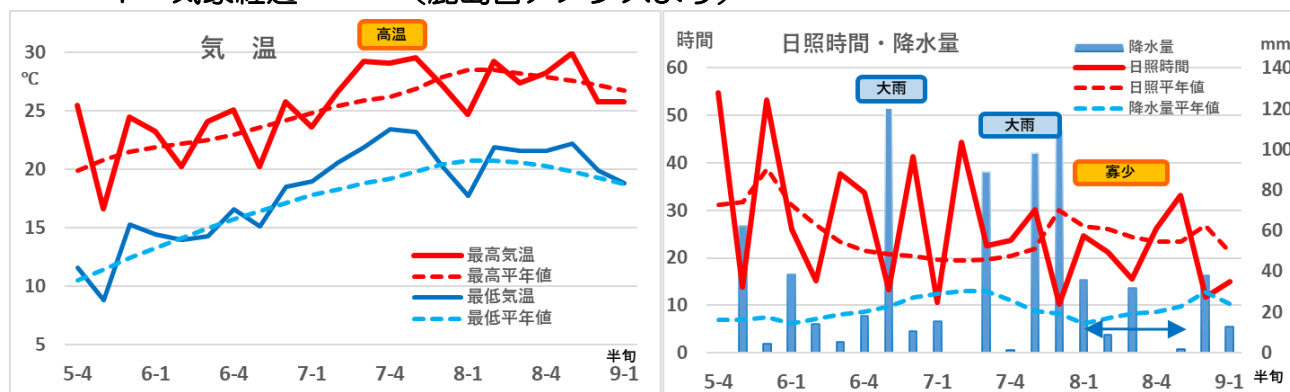


図1 最高気温と最低気温の推移

図2 日照時間、降水量の推移

8月の天候は、8月4日の梅雨明け以降日照時間の長い日が数日あったものの、すっかりと晴れた日は少なくなりました。降水量は平年並みとなりましたが、月の半数は降雨を観測しています。気温はここ数年に比べ極端な猛暑の日は少なくなりました。

9月に入っても降雨日や曇天の日が多くなっています。9月の東北太平洋側の一か月予報では、平均気温は高く、降水量は平年並みか多く、また、日照時間は平年並みと見込まれています。

2 生育状況

表1 生育調査結果

品種	年度	播種日	主茎長(cm)			主茎節数(本/株)			分枝数(本/株)		
			7/25	8/10	9/1	7/25	8/10	9/1	7/25	8/10	9/1
ミヤギシロメ	R 8年	6/18	28.3	61.3	87.5	8.1	11.8	16.5	0.1	1.4	3.0
	R 7年	6/19	40.9	81.9	100.1	9.3	14.2	15.9	0.3	2.7	2.8
	前年差	△ 1	△ 12.7	△ 20.6	△ 12.6	△ 1.2	△ 2.4	0.6	△ 0.2	△ 1.3	0.2
すすみのり	R 8年	6/12	17.3	22.4	23.3	6.8	7.0	7.7	0.3	0.6	1.1
	R 7年	6/10	39.0	58.9	62.0	11.1	15.1	14.6	2.2	2.9	3.7
	前年差	2	△ 21.7	△ 36.5	△ 38.7	△ 4.4	△ 8.1	△ 6.9	△ 2.0	△ 2.3	△ 2.6
タチナガハ晩播	R 8年	7/8	9.1	19.7	42.0	2.7	6.1	11.9	0	0	2.8
	R 7年	7/13	7.8	21.2	85.1	2.5	6.2	11.6	0	0	1.0
	前年差	△ 5	1.3	△ 1.5	△ 43.1	0.2	△ 0.1	0.3	0	0	1.8

※ R 8年の7/25調査は7/23に、9/1調査は8/28に実施した。

【標播】

- ・6月の播種直後の大雨と、7月の2回の大雨により浸水したすすみのりでは、生育不良となっています。ミヤギシロメでも降雨の影響を受け、昨年に比べ生育はやや不良で、蔓化傾向となっています。調査ほのすすみのり、ミヤギシロメとも8月10日頃が開花始めとなりました。

- ・調査ほ場以外も6月、7月の大雨の影響を受けたほ場では、生育はやや不良となっています。また、降雨の影響でほ場に入れず、計画通り中耕培土等の管理作業が出来なかったほ場も多くみられます。そのようなほ場では雑草の発生が目立ち始めています。

【麦後晩播】

- ・調査ほ場では播種直後の大雨の影響を受け、出芽不良による欠株の発生が多く、また、生育も不良傾向となっています。調査ほ以外のほ場も同様な傾向となっています。

3 今後の管理

(1) 湿害対策 大雨に備えてほ場の排水対策を確認しましょう

今作は雨の影響を受けているほ場が多くあります。降雨が続くような時は出来るだけほ場の停滞水が少なくなるよう、明きょが排水路に接続されているか確認するとともに、暗きょからも排水させましょう。

- ① 播種前に施工した明きょが排水路につながっていることを確認する。
- ② 排水路に雑草や土砂がたまっていないことを確認する。

(2) 雑草対策 手取りや薬剤散布により雑草種子を増やさないようにしましょう

アメリカセンダングサやシロザ、オオブタクサ、ホソアオゲイトウなどは大型化し、コンバイン収穫の妨げとなります。また、イチビは種子量が多く、イヌホオズキなどは汚粒の原因となります。手取り除草を早めに行い雑草の種子をほ場に落とさないよう管理しましょう。



図3 オオブタクサ



図4 ホソアオゲイトウ



図5 イチビ



図6 畦畔に植生したイチビ

(図3～図5写真：みやぎの大豆・麦類栽培技術指導指針より)

～農作業安全確認運動実施中～
令和8年9月1日から11月30日まで
徹底しよう！農業機械の転落・転倒対策